

当物件にお住まいの皆さまへ

# 集合住宅専用 一括インターネットサービス

Five.A のご案内



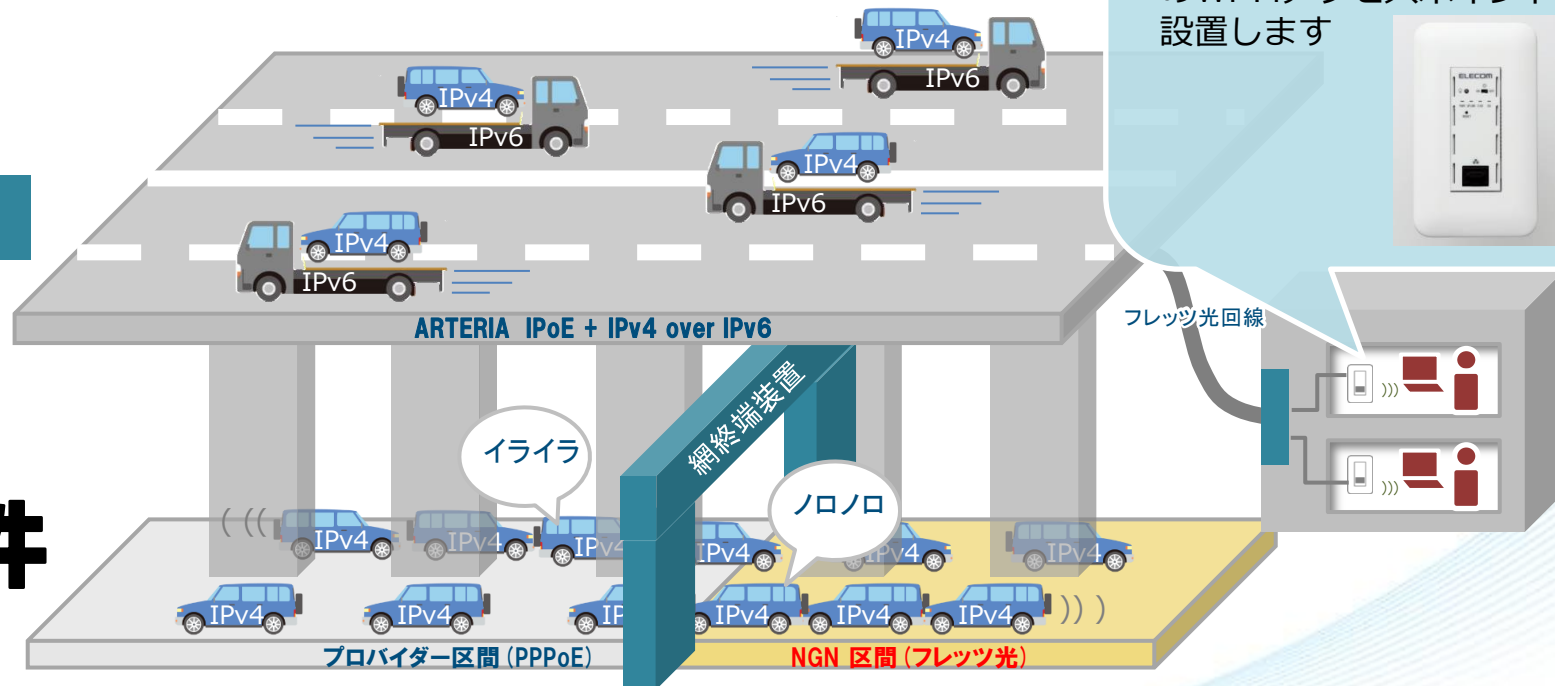
# ★1GBの光回線でも、仕組みが違います

本物件の「つなぐネット」アクセス回線は  
IPoEの最新の仕組み！

本物件

IPoE

遅い物件



## ■壁埋込型Wi-Fi

- ・コンセントボックスタイプのWi-Fiアクセスポイントを設置します



フレッツ光回線

# 全戸一括加入型インターネット 「つなぐネット」のご案内

当社は全戸一括型インターネットで**シェアNo.1**を誇る電気通信事業者です  
個人向け光インターネットを**世界で初めて提供**した歴史と実績があり  
インターネットを通じて、集合住宅の価値創造に貢献してきました。

本サービスが お客様の物件の付加価値創造の一助となれば幸いです。

※株式会社MM総研 2019年9月10日発表「全戸一括型マンションISP調査」より <https://www.m2ri.jp/news/detail.html?id=367>

The information contained in this document are subject to change without notice.

本資料の情報は予告なく変更する場合があります。予めご了承くださいませ、お願い申し上げます。

# アクセス回線から先は「国内トップクラスのIPバックボーン」

IPバックボーン=ISPの出口 つまり「他のISP」と接続する回線の総容量

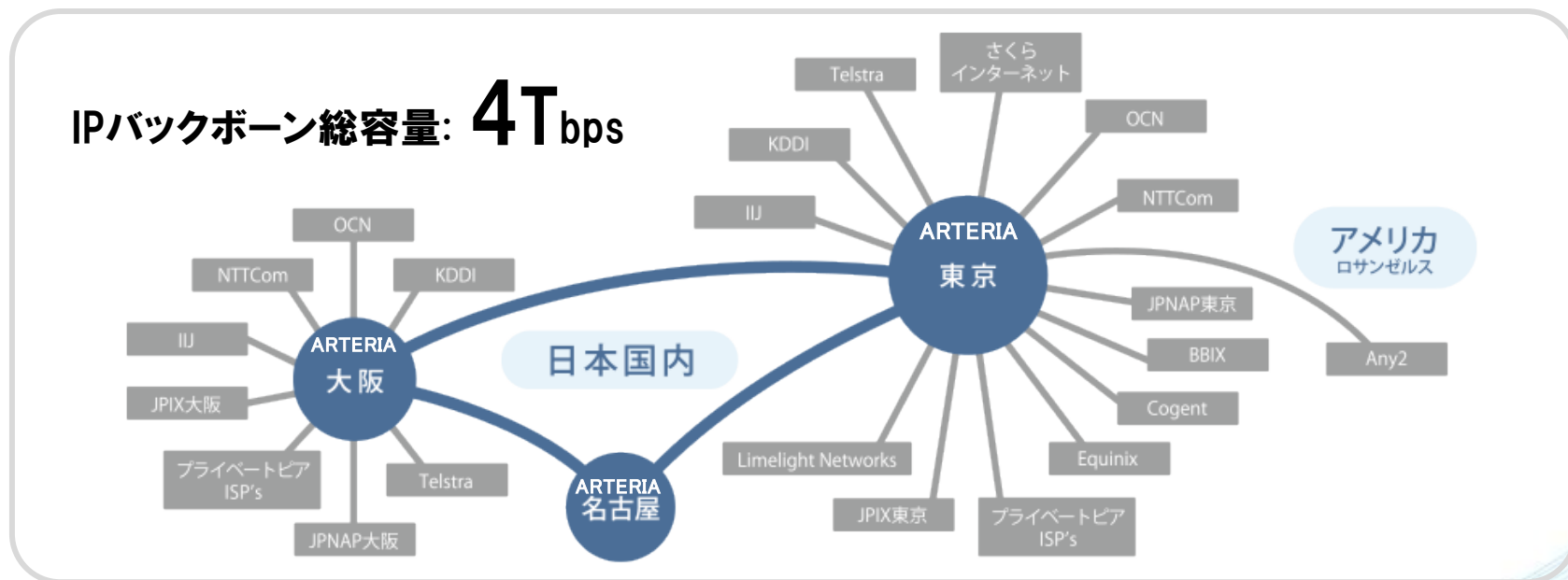
ARTERIAグループのIPバックボーンは**4Tbps (4,000Gbps)**

これは国内ブロードバンドにおけるダウンロードトラフィック(推定11Tbps※)の約**36%**に相当

ARTERIAのみで国内ブロードバンドの**3分の1**をまかなえる容量を保有しています

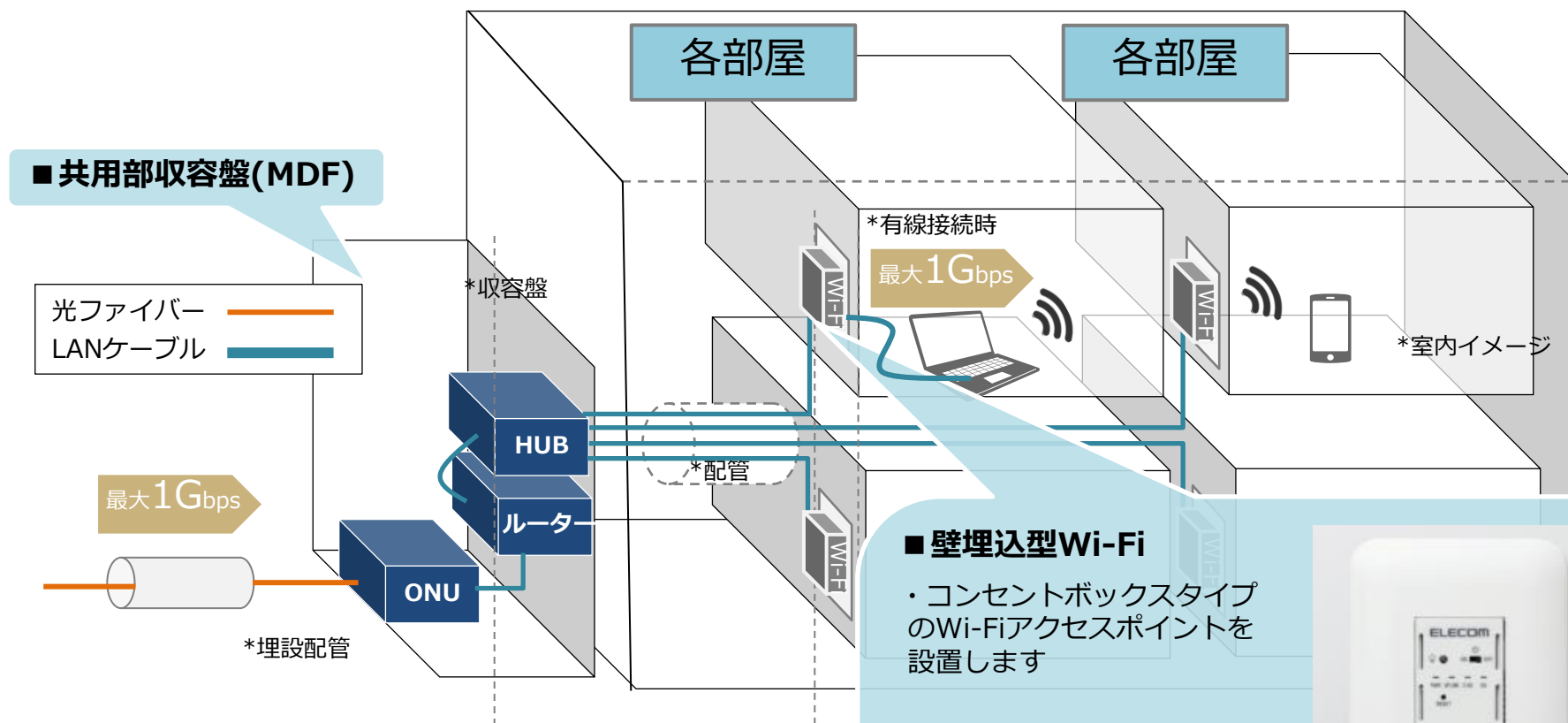
※2019/3/5 総務省 総合通信基盤局 「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計結果」より

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000604136.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000604136.pdf)



参考: NURO (ソニーネットワークコミュニケーションズ) **2Tbps**

# Five.A 提供イメージ



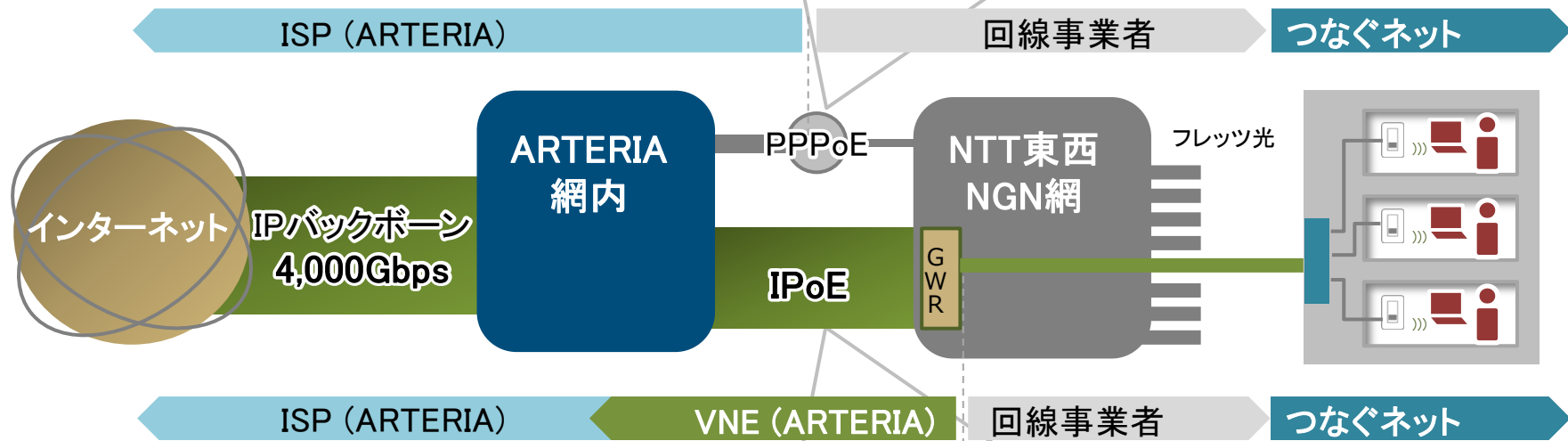
各部屋まで最大1Gbpsの  
スタンダードサービス



画像はイメージです

# 新たな通信方式「IPoE」で混雑ポイントを回避

これまでは プロバイダーとNGN網(次世代通信網)を結ぶ  
「網終端装置」を起因とした混雑が生じがち



これからは 新しい通信方式「IPoE」にて従来とは比較にならない広い帯域を確保できる

## IPoE = IP over Ethernet

- NGN網をシンプルなLANのように扱う
- ISP認証が不要なため、これまで混雑の原因となっていた「網終端装置」が不要に

## VNE = ヴァーチャルネットイネーブラー

- 仮想固定通信提供者 つまり NGN網に直接イーサネット接続できる事業者
- 2020年4月現在 国内ではARTERIAを含め8社のみ 自社VNEならではのコストパフォーマンスに優れた サービス提供が可能

## GWR = ゲートウェイルーター

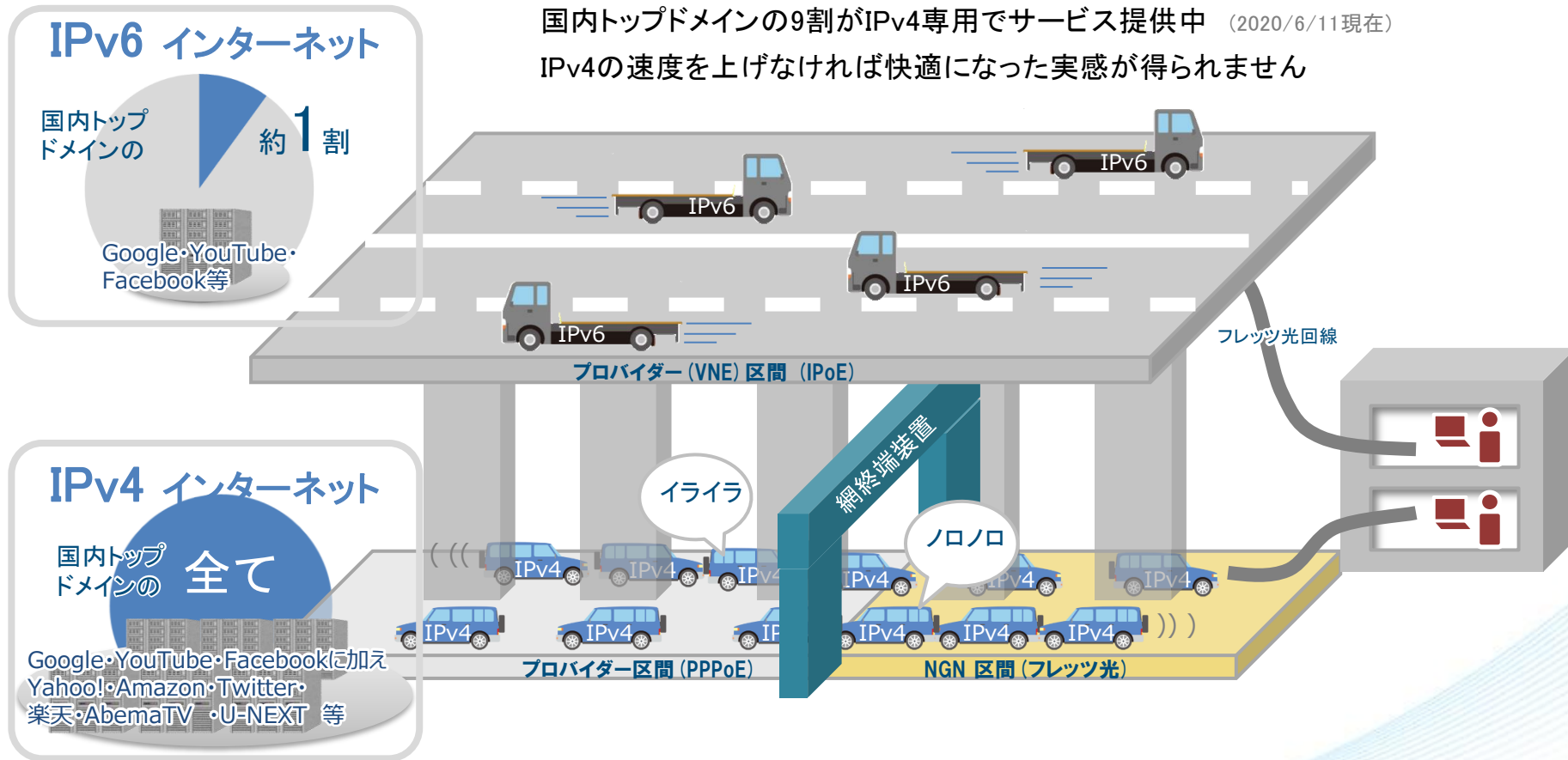
- VNEの費用負担にてNGN網内に設置
- VNE側の裁量にて自由な増設が可能

# IPv6=従来の道の上に『通過ゲートの無い新たな道』を作る

◎メリット：「IPv6」という従来とは別のインターネット空間を利用  
「網終端装置」という通過ゲートが不要になる

▲デメリット：IPv6接続に対応したWEBサービスが少ない

国内トップドメインの9割がIPv4専用でサービス提供中（2020/6/11現在）  
IPv4の速度を上げなければ快適になった実感は得られません



# 空いてる新たな道 (IPoE) にIPv4を通す

IPv4 over IPv6

ARTERIAグループは法人向けサービスを核にIPoE網を自ら構築・運用  
VNEとしてIPoE + IPv4 over IPv6を構築できているISPは国内で7社のみ

自社構築ゆえ、品質・価格ともマンションの規模に合わせた柔軟な設計が可能  
つなぐネット「Five.A」のアクセス回線は全て IPv4 over IPv6になります

